

PRESS RELEASE

REBECCA HORN

Rebellion in Silence
Dialogue between Raven and Whale

レベッカ・ホルン展

静かな叛乱 鴉と鯨の対話



M0+
MUSEUM CONTEMPORARY TOKYO
OF ART
東京都現代美術館

展覧会趣旨

この秋、ドイツの現代美術家レベッカ・ホルン (1944 -) の、日本で初めての個展を開催することになりました。羽や角をまとうパフォーマンスで知られるレベッカは、二十歳代での「ドクメンタV」展参加以来、次々と新たな領域に挑戦する精力的な活動を通して、美術のみならず、ダンスや映画の愛好者をはじめ、多くのひとびとを魅了してきました。

他者とのコミュニケーションの回復や、自然との交感を求める初期のパフォーマンスで着用した知覚の拡張装置はやがて、機械仕掛けで動く立体作品へと展開していきます。その後、滞米生活の中で着手した長編映画では、これら動く彫刻を取り込み、その意味の変容を軸とした映像世界を展開しています。また 1980 年代に活動の拠点を母国に移してからは、近現代史と直接向き合い、個人の体験を社会の記憶と結びつける作品は高い評価を得てきました。近年は、作曲家との協働によるインスタレーションや舞台美術、のびやかなドローイングを手がけ、その自由な創造は常に新たな関心をひきつけているのです。

本展は、パフォーマンスの記録から長編映画まで、映像の代表作全てと、絵画や彫刻の近作をあわせ、それぞれのメディアを関係づけながら展開してきた活動を本格的に紹介するものです。自然や人間の様々なエネルギーの流れを、目に見えるかたちに変換していく、独自の創造の軌跡を堪能するまたとない機会となるでしょう。

展覧会の見どころ

待望された、日本での初個展

早くから国際展で活躍し、パフォーマンスやドキュメンタリーなどを通して、その名は日本でも広く知られているにも拘わらず、実作品を東京で目にする機会は限られていました。今回は、ほぼ全てのジャンルにわたるレベッカの活動を、初めて実見することができます。

初期の貴重なパフォーマンス

美術大学卒業後手がけた彫刻の新素材が原因で隔離療養生活を送った作家にとり、身体機能を拡張し、他者とのコミュニケーションを回復することが、その後の創作活動の、切実で揺らぐことのない主題となりました。布や羽根を用いた知覚の拡張装置を装着した作家や友人たちが、互いに、そして周囲の空間との関係を探りながら展開したパフォーマンスを、貴重な記録映像を通して知ることができます。

静かに動く機械たち

柔らかい羽、双眼鏡、楽器など、五感のはたらきを喚起させるものたちは、まるでそこにひとが介在するかのように、静かに、そして間歇的に動き続けます。繊細な鐘から、スペクタクルなグランドピアノまでいずれも、実にさまざまな感覚と想像力に訴えかけます。

本格的な映像作品を字幕付きで、ゆったりと鑑賞

1970 年代後半の米国滞在中に脚本、監督を務める長編映画に着手した作家は、パフォーマンスや立体などそれまでに手がけた作品を映像の中に散りばめ、文脈による意味の変容を探るようになります。チェリストのミーシャ・マイスキー、俳優のドナルド・サザーランド、ジェラルディン・チャップリンなど、豪華な役者が登場する映画はいずれも 1 時間以上の大作ばかり。美術館で一日映画を堪能できます。

詩人にして美術家による新たなインスタレーション

レベッカは詩人としても活動し、近年は詩集も出版しています。その詩をフィーチャーし、友人のチザムの音楽が流れるインスタレーションでは、空間を変容させる最近の創造を体感できます。

最新のペインティングを紹介

立体作家のイメージの強いレベッカですが、近年は大型のペインティングを手がけています。器具を伴わず、身体の動きをそのまま伝える、伸びやかで、明るいペインティングは、ジャンルなど軽々と飛び越え、自由に展開する創作の息吹を伝えます。

作家略歴


1944年	ドイツ、ミヒェルシュタットに生まれる
1963年	ハンブルグ造形芸術大学に入学
1971年	DAADの奨学金でロンドンのセント・マーティン美術学校で学ぶ
1972年	カッセル、ドクメンタに参加 ニューヨーク在住（1981年まで）
1978年	ファン・アッペ美術館等を巡回する個展で映画「ダンス・パートナー」を発表 ミュンスターの彫刻展で《逆向きのコンサート》を発表、後に永久設置となる
1984年	サーペンタイン・ギャラリー、シカゴ現代美術館で個展
1986年	パリ市立近代美術館にて個展 カッセル、ドクメンタ賞受賞
1989年	ベルリン芸術大学にて教鞭をとる（2009年まで）
1999年	ロサンゼルス現代美術館の個展で映画「バスターの寝室」を発表
1993年	グッゲンハイム美術館、ベルリン新国立美術館、テート・ギャラリー等にて個展（1994年まで）
2002年	作曲家ハイデン・チザムとのコラボレーションによるインスタレーションの制作を開始

現在まで欧米の主要美術館での個展多数、ベルリン、パリ在住

展覧会概要

展覧会名：	レベッカ・ホルン 静かな叛乱 鴉と鯨の対話 Rebecca Horn Rebellion in Silence Dialogue between Raven and Whale
会期：	2009年10月31日（土）～2010年2月14日（日） 88日間
休館日：	毎週月曜日（但し11月23日、1月11日は開館）、11月24日、12月28日～1月1日、 1月12日
開館時間：	10:00-18:00（入場は17:30まで）
会場：	東京都現代美術館 企画展示室 3F,1F

主催： 財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館

ドイツ文化センター  GOETHE-INSTITUT
JAPAN
ドイツ文化センター

ドイツ対外文化交流研究所 **ifa** Institut für Auslands-
beziehungen e.V.

助成： 朝日新聞文化財団

協賛： **SHISEIDO**
日本ロレックス株式会社

協力： 日本航空

観覧料金： 一般：1200円(960円)、65歳以上：800円(640円)、学生：900円(720円)、
中高生：600円(480円)、小学生以下無料

* () 内は20名様以上の団体料金

* 企画展のチケットでMOTコレクションもご覧いただけます。

* 同時開催「ラグジュアリー：ファッションの欲望」展との共通チケット有

関連プログラム

アーティスト・トーク レベッカ・ホルン × ハイデン・チザム (作曲家)

10月31日(土) 14:00～ 会場 東京都現代美術館 地下2階講堂

* そのほか、ゲスト・レクチャーやスタッフによるトークなどを予定しています。

* ご入場の際は展覧会チケットをお求め下さい。

* イベントの詳細につきましては、当館ホームページをご参照下さい。

展覧会スタッフ

チーフキュレーター： 長谷川 祐子 / 学芸員： 関 直子、吉崎 和彦

広報担当： 野口 玲子、小原久実子

広報問い合わせ先： 電話 03-5245-1134 (直通) Fax: 03-5245-1141

問い合わせ先

東京都現代美術館

電話 03-5777-8600 (ハローダイヤル) 03-5245-4111 (代表)

住所 〒135-0022 東京都江東区三好 4-1-1

<http://www.mot-art.-museum.jp>

交通案内

東京メトロ半蔵門線・清澄白河駅 B2 出口より徒歩 9 分

都営地下鉄大江戸線・清澄白河駅 A3 出口より徒歩 13 分

首都高速「木場」又は「枝川」出口利用

上映予定作品

会期中、下記の映像作品を上映します。

※2010年1月26日（火）－2月14日（日）は、一部作品を講堂にて上映。詳細は当館HPでご案内いたします。

「パフォーマンス 1」1972年（22分）

「パフォーマンス 2」1973年（38分）

「ベルリン－9つのエクササイズ」1974-75年（42分）

「ダンス・パートナー」1978年（47分）

「ラ・フェルディナンダ：メディチ邸のためのソナタ」1981年（85分）

「バスターの寝室」1990年（104分）

「過去をつきぬけて」1995年（55分）

「妖精モルガン」2009年（20分）

作品写真一覧



①



②



③



④



⑤



⑥



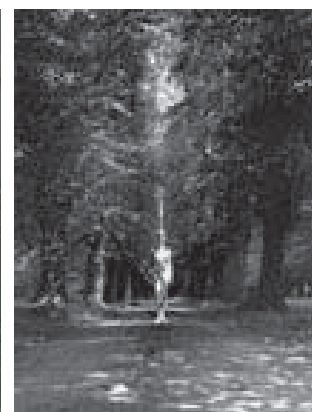
⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬

レベッカ・ホルン展 写真貸出申込書

展覧展広報用として画像を13枚ご用意しております。ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上ファックス又はe-mailにてお申してください。なお、写真のご使用に際し、以下の点をご注意ください。

①キャプションは作品の下に作家名、作品名、制作年、撮影者等を必ず表記ください。

②作品写真のトリミング、文字のせをすることはできません。

※本展記事をご紹介いただく場合には、恐れ入りますが情報確認の為にゲラ刷り、掲載誌(紙)、DVD、ビデオ、URL等をお送りください。

雑誌名・番組名・サイト名	
種別に○をつけてください	TV ラジオ 雑誌 新聞 フリーペーパー ネット媒体 携帯サイト その他
発売・放送予定日	
御社名	
ご担当者名	
E-mail アドレス	
住所	〒
電話番号	
ファックス番号	

図版番号

ご希望の図版に✓をつけてください。

1. 記録映像「ベルリンー9つのエクササイズ」1974-75 ©2009:Rebecca Horn
2. 映画「ダンス・パートナー」1978 ©2009:Rebecca Horn
3. 映画「バスターの寝室」1990 ©2009:Rebecca Horn
4. 映画「バスターの寝室」1990 ©2009:Rebecca Horn
5. 《ジェイムズ・ジョイスのためのヌーグル・ドーム》2004 ナイフ、モーター Photo: Gunter Lepkowski ©2009:Rebecca Horn
6. 記録映像「パフォーマンス2」1973 ©2009:Rebecca Horn
7. 《浮遊する魂》1990 楽譜、モニター Photo: Attilio Maranzano ©2009:Rebecca Horn
8. 《恋人たち》1991 インク、モーター Photo: Attilio Maranzano ©2009:Rebecca Horn [参考図版]
9. 《鯨の腑の光》2002 水槽、作家による詩、ハイデン・チザムの音楽 Photo: Heinz Hefele ©2009:Rebecca Horn
- 10.《ユニコーン》1970 パフォーマンス Photo: Achim Thode ©2009:Rebecca Horn
- 11.《双子の鳥》1997 鳥の羽根、モーター 1997 Photo: Attilio Maranzano ©2009:Rebecca Horn
- 12.《アナーキーのためのコンサート》1990 ピアノ、モーター Photo: Attilio Maranzano ©2009:Rebecca Horn
- 13.《妖精モルガン》2009 映画「バスターの寝室」の一部、絵の具、ハイデン・チザムの音楽 ©2009:Rebecca Horn

広報お問い合わせ先 TEL:03-5245-1134(直通) FAX: 03-5245-1141

東京都現代美術館 事業企画課企画係広報班 江東区三好 4-1-1

野口 r-noguchi@mot-art.jp 小原 k-ohara@mot-art.jp